親の会法人だより

20 - 01号 2020年7月9日発行



理事長より

第12回定期総会は、新型コロナウィルスの感染拡大で自粛生活が続いていた中、初めての書面議決による定期総会とさせていただきました。厳しい状況ではありましたが、皆様のご協力のおかげで無事に総会を終了、その後東京都への届け出と法務局への届け出を6月上旬に済ませることができました。

総会の報告とともに、皆様のご協力に対して感謝申し上げます。

新型コロナウィルスによる感染の一日も早い終息を願っておりますが、今後もこの状況と向き合っていかなくてはならないことを考えると、皆様もどうか気を緩めることなく、一人ひとりが新しい日常に順応し、健やかな毎日を送っていただけることを願っております。

理事長 村上佳子

第12回定期総会報告

令和2年5月23日(土)10時~10時20分 於深大寺ぴいす 1階活動室 出席者:4名(事務局1名)

■総会成立

第12回定期総会は出席者3名、他全て書面議決とし、5月13日までに書面議決書を提出いただいた。 社員総数365名 有効議決総数293名(出席総数3名、議決権行使書290名) 定款第26条により、社員総数の2分の1を超えるため総会は成立した。

■理事長挨拶

総会議案書に同封し送付済みのため省略。

■議長・議事録署名人の選出

議長:進藤美左(木の実 G) 議事録署名人:村上佳子 箕輪久子

- ■審議事項
- ◆第1号議案 令和元年度事業報告及び決算報告 替成293 反対0
- ◆第2号議案 定款変更 賛成293 反対0
- ◆第3号議案 役員(監事)の選任 賛成 293 反対 0

議決権行使書による質問は、なし。すべての議案について、 過半数の賛成をもって可決された。

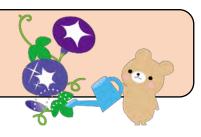
■報告事項 進藤 報告事項は総会議案書のとおり。

> 令和2年度第1回理事会(4月26日付けで書面議決)で 全理事より承認済。 以上



総会当日のようす

親の会活動



令和元年度も例年通り、各グループの課題にそった懇談会・見学会・学習会などを、みんなのサポートネットの協力のもと活発に行いました。ゆうちょ財団助成によるお金の講座も好評でした。例年どおり、市長、行政との話し合いや出前講座を実施しましたが、令和二年度四月開設の「ゆずのき学童クラブ」(医療的ケア児を含む通常の学童では対応が困難なお子さんも受け入れる市の学童クラブ)についても、施設整備や体制等について何度も親の会の意見を聞いていただきました。令和元年度は台風による水害があり、被災した皆様には心からお見舞い申し上げます。今後、障害児・者のご家庭にとってより安心できる防災対応のために、まず会員アンケートを実施しました。結果は行政・関係機関と共有し、今後の要望にも生かしたいと思っています。一方、年度末から新型コロナウィルスにより活動を制限せざるを得なくなっていますが、元年度後半に実施できた「医療についての困りごとアンケート」には多くのご回答をいただきました。今後、調布市、調布市医師会様含め関係の皆様と共有し、よりよい将来の地域生活のために役立てたいと思っております。令和二年度は、学習会や様々なイベントの実施も危ぶまれていますが、こんなときだからこそ、会員どうし支え合えたらと思いますし、各グループとも、よりよい情報発信の方法を検討していきます。ご意見がありましたらぜひお寄せください。 (役員一同)

木の実グループ

親子共々幅広い年齢層の方が在籍しており、要望のニーズも複雑に変化しています。各年代の親と子それぞれの生活を守るためのお手伝いができればと思い活動しています。成人後の余暇活動、グループホームの増設、高齢になった親子の生活・医療など、市長はじめ関係機関と話し合いをしています。ご協力をよろしくお願いいたします。

「すてっぷ」ご利用希望の方は

調布市障害福祉課へお電話

3042-481-7094 • 7089 • 7135

※調布市在住の方対象です。





体験型グループホーム「すてっぷ」見学会&ランチ懇談会

2019年9月3日16名参加(ランチ11名)

グループホームについて知りたい方、利用を考えている方は年々増えています。待機者が20名程いること、障害が重い・自立度が低い障害者も利用できるのか心配、まず申し込みをしたいがどうしたらいいか、もっと体験型も含めてグループホームを作って欲しい!など多数のご質問やご意見がありました。また見学後に、近隣のレストランでランチをして、楽しい親睦の時間が持てました。直接お話をしたことでお知り合いになり、気軽に相談し合えるような関係性が持てるようになっていきたいと思いました。

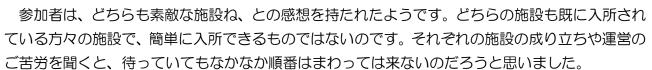
れんげグループ



★施設見学会

令和元年度は、わが子の終の住処の知見を広げるために、施設見学会を2ヶ所実施しました。**重症心身障がい児施設「緑成会整育園」**(小

平市)と障害者地域生活支援ステーションわくらす武蔵野(武蔵野市)です。



★新年会

新年会は、悪天候のため日時を変更しての開催でした。参加者が少なかったのですが、次期リーダーの立候補というサプライズをいただきました。



要望活動は、今年も何度か話し合いを持ち文章を練り、市長をはじめ障害福祉課・事業団・教育委員会と直にお話ができ、貴重な体験ができました。れんげグループとして第一は卒後の通所先の確保です。「調布基地跡地福祉施設(仮)」の計画が止まってしまい、動向が気になるところです。

新年度は新型コロナウイルス流行で、全てが例年通りにはできないようですが、新しいやり方が 生まれるときなのでしょう。新リーダーに期待しています。

あざみグループ

7月に(株)エフピコ 八王子 PW 工場の見学に行きました。 今回は紹介者のご好意での見学でしたので、今後のグループ活動の参考としてグループリーダー2名で参加しました。

10月はみなサポとの合同学習会「高校選び・進路選択とキャリア教育」を開催しました。(3月のアートセラピーは中止しました)





昨年度夏からのコロナ災いの影響で不安定な新年度を迎えることになりました。現在も先が不透明な状況ですが、 お 互いにできることを協力しあっていち早く皆さんの日常が取 り戻せることを願っています。どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

すみれグループ

「先輩ママに聞いてみよう!」学習会

7月にあくろすホール1にて、参加人数36名で行いました。あざみグループの先輩お母さま方4名のお話、ご自身の体験を元にしたアドバイスに、参加者のみなさまより「先輩の生の声を聞けて大変参考になった」等の感想をいただきました。学習会後の懇談会では引き続き先輩お母さま方も交え、小



学生保護者同士の交流、情報交換の場として話がはずみました。



みなサポ共催 「ココが知りた い!配慮が必要 なお子さんの中 学進学」

10月には前年度好評だった「通常の学級における特別支援教育」学習会の中学校編として、調布市立第六中学校にご協力いただき、図書室をお借りして開催しました。市内中学校の通常の学級における特別支援の具体例や校内通級教室のお話を伺いました。小学生保護者のみならず、教育相談所職員の方や市内中学校教諭の方も数多くご参加下さり、通常の学級における特別支援に対する関心が高まっていると感じられました。

引き続き会員のみなさまの「知りたい」「困った」に寄り添った活動をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



こぐまグループ

★懇談会★

元年度は市内の飲食店や公共施設の和室などで3回行いました。参加申込みの際にいただいた 困り事について先輩お母さんにお話しを聞いたり、子育ての相談や話したい内容によってグループ に分かれて自由にお話しています。お子さん連れOKのにぎやかな楽しい会ですので、遠慮するこ となく参加できて、同じような悩みを持った方同士コミュニケーションができると大変好評です。

★就学勉強会「先輩ママに聞いてみよう」★

9月にあくろすホールにて行いました。支援級、通常級、支援学校 に通うお子さんをお持ちの4名の先輩お母さんに、進路決定や学校 生活についてのお話をしていただきました。参加者も多く、とても 盛り上がった勉強会でした。

※今年度は、オンライン懇談会などの新しい形で、会員の皆さんと 情報の共有や悩み事の相談等をできるような機会を作っていきたい と思います。よろしくお願いいたします。



防災チーム

★台風19号水害時防災行動 についてのアンケート実施

令和元年秋の台風は、調布市にも 多大な被害がありました。会員、関 係者の方にアンケートを実施し、結 果を報告書にまとめました。(HP 参照) 今後の対策に役立てていただ くために、調布市防災安全対策課を はじめ、各課へ提出しました。





★「とことんまもる」再版★

親の会HPからダウンロードできるようになりました。 災害から身を守る備えをまとめています。





★令和元年度の諸活動★

4月 防災教育の日 第一小学校の要支援者訓練、地域の方との意見交換会に参加。

7月 防災に関する懇談会 総合防災安全課・障害福祉課・福祉総務課・教育総務課。

11月 二次避難所訓練に参加

※防災名簿の活用の見直し(調布市では市ホームページから避難所名簿事前記入を勧めています)

みんなのサポートネット

令和元年度の活動は、昨年度に引き続きゆうちょ財団助成金によるお金に関する講座と本人、親子で学ぶワークショップを世代にあった内容で開催いたしました。講座では、親・支援者向けに、障がいのある人への「性」の支援についても一緒に考え、エチケット・マナーと巻き込まれやすいトラブルについて再認識し教え方を学びました。







本人ワークショップでは、お金の管理や使い方の

ために袋分けワークを楽しくゲームのようにすすめてくださり、自立に向けての経験ができたと思います。親子ワークショップでは、昼食メニューを一緒に考えることで、必要材料の選択や広告の見方などを楽しくすすめることで暮らしに活かすことができました。

その他、グループとの共催で「進路選びとキャリア教育 最前線!」「通常の学級における調布の特別支援教育(中学校編)」を各世代で抱える課題に寄り添った内容で企画いたしました。

「みんなでウォールクライミング」は春・夏・冬休みに開催し、こぐまからあ ざみグループまでの幅広い世代が家族で参加し楽しまれていました。経験者が 増えると同時に、継続して参加している方の上達も見られるようになり、今後も 時期を検討しながら、多くの方が参加できるよう企画を継続していきたいです。

就 労 継 続 支 援 B 型 事 業 所 • 生 活 介 護 事 業 所

ぴいす

~1日のながれ~

9:00 出勤

9:10作業開始

10:30 休憩

10:45 作業再開

12:00 昼食

13:00 作業その他の活動開始

15:00 作業終了、休憩

15:30 掃除16:00 退勤

作業の様子



ダンス教室



車の寄贈式



多機能型としておいる。 和用者さ、令の和 2 に課題を残しておりましたが決したが決したがりませんの和でとれておりませんが決定を強いた。 対数を表しておりません。 対数を表したが、対数を表した。 対数を表した。 対した。 をおりました。 なりました。 なりました。 は、 2 からになりました。 なりました。 なりました。

また、自動車総連いすゞ自動車様から車の寄付をいただきました。大切に使わせていただきます。

作業以外の活動としても、新たにダンス教室を始める事が出来ました。作業終了後の活動として、毎月1回実施してまいりました。利用者さんも楽しく参加してくれています。他の企画も検討中です。

生活介護事業では、作業の他に余暇活動が充実してきております。職員の配置転換、新規利用者の受け入れで、落ち着かない日が続きました。

ぴいす父母会の皆様には、けやきの森学園の 夏祭り・福祉祭りに参加して頂き運営費の確保 や保護者同士の交流にご協力して頂きました。 今回、「ぴいす祭り」は新型コロナウイルス流行 に伴い中止いたしました。

『ぴいす』自主製品の販売場所

総合福祉センター、ファーストステップ、セブンイレブン飛田給品川通 り店、カフェ大好き、

★予約注文も承ります。 詳しくは『ぴいす』まで。

「森のこみち」閉店のお知らせとご挨拶

昭和 60 年から平成 17 年まで「径」を運営してくださった先輩方の後を引き継ぎ、平成 18 年から「森のこみち」の名でリニューアルして 14 年。親の会の皆様及び、他市に渡るボランティアの方々により運営して参りましたが、年々の売り上げ減少と共に休日の人材確保が厳しく、閉店に至りました。



「森のこみち」で人気のおにぎりや、ぴいすが提供してきた豚汁が食べら

れなくなり、淋しいとのお客様の声が多数聞かれました。総合体育館の喫茶コーナーとして 34 年間、お客様に愛されたお店だった事は嬉しい限りです。

それもこれも、これまで長年に渡り支えて頂いた皆様方のご支援のたまものと、深く感謝いたします。本当にありがとうございました。 藤原幸子



◆スタッフより◆

子供の養護学校と同時にこみちに関わる様になり、生活の一部となっていましたが、2月で閉店する事になり、利用してくださるお年寄りや、ぴいすの利用者さん達と会えなくなって寂しいですが、今までありがとうございました。

T٠N

長く「森のこみち」に関わらせて頂き、市、市民の皆さん、親の会の皆さんに 心より感謝申し上げます。 I・M

助成金報告



- ・赤い羽根共同募金様より ぴいす宿泊訓練 136,000円
- ・ゆうちょ財団様より「お金カレンダーを使って一人暮らしを体験してみよう」「お金と性の支援」 314,318 円
- ・調布市社会福祉協議会様より 第 42 回福祉まつり分配金 親の会活動 90,000 円

ぴいす 下石原ぴいす 45,000円

助成金ありがとうございました。事業と活動に役立てさせていただきました。

例年定期総会では長友市長よりご挨拶を頂戴しておりますが、今回は書面にて調布市障害福祉課水谷課長が寄稿くださったご挨拶、福祉サービスの最新情報を掲載します。

障害福祉課長ご挨拶

四月から障害福祉課長として務めることになりました、





進藤会長から ひとことご紹介

親の会会員の皆様へ

令和2年6月4日

平素から調布市の障害福祉行政に御理解、御協力を賜り、また、調布市の障害児・者の福祉の増進のために御尽力いただき、御礼申しあげます。

私は4月1日から障害福祉課長として務めさせていただくこととなりました。

前任に引き続き、皆様に寄り添い、生活に安心感をもたらすことができるよう、障害のある方を取り巻く状況の把握に努め、障害当事者や事業所をはじめ関係機関・団体など多様な主体との連携を図るとともに、また国や東京都の方針や取組とも連携しながら、市として可能な施策について全力で取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症については、5月25日に緊急事態宣言が解除され、6月から感染防止対策を講じたうえで、順次、段階的に市の公共施設等の開館や利用の再開、市内小・中学校の登校の開始などを行っております。

これまでも外出自粛をはじめ、日常生活において感染予防のための行動を徹底された皆様の御努力に感謝申しあげます。しかしながら、早くも6月2日に感染拡大を警戒する東京アラートが発動されました。新型コロナウイルス感染症への対応は長期戦になることが想定される中、皆様は、なお先行きの見えない困難と不安のさなかにおられることと認識しております。今後とも皆様の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

障害福祉課よりサービスの最新情報

新型コロナウイルス感染症の影響に係る取り扱いについて

1 各種医療費助成制度の受給者証の有効期間の延長

各種医療費助成制度について、有効期間の満了日が1年間延長されます。

次の対象者のうち、受給者証の更新申請をしていない方は、更新手続の書類を提出する必要はありません。

- (1) 自立支援医療受給者証(国保受給者証も含む)の有効期間が令和2年3月1日から 令和3年2月28日に満了する方
 - ※精神障害者保健福祉手帳は更新申請が必要です。
- (2) 特定医療費(指定難病)受給者証の有効期間が令和2年3月1日から 令和3年2月28日に満了する方

なお、自動延長となった際、(1)につきましては新しい受給者証は発行されません。 (2)につきましては、新しい受給者証が発行されます。



各受給者証の内容で、負担上限月額や保険、住所等の変更がある場合は、変更手続きが必要となりますので、お問い合わせください。

2 一部の障害福祉サービス標準利用期間の延長について

自立訓練および就労移行支援について、令和2年度内(令和3年3月31日まで)に標準利用期間(延長後3年目を含む。)が終了となる利用者について、最大1年間の範囲で延長が可能となります。

延長を希望される場合は、障害福祉課までまずご一報ください。「新型コロナウイルス 感染症への対応に伴う標準利用期間の延長に係る申請書」をお渡しします。

申請書をご提出いただいた後、審査会で簡易な審議にかけてから延長利用の決定をします。

移動支援(通学支援)の利用について

調布市ではこれまで移動支援の利用目的として、「通学」については 認めていませんでしたが、令和2年4月より、下記要件に該当する場合に 限り、通学」を目的として移動支援を利用することができるようになりました。

【対象要件】

- ① 市内市立小学校の特別支援学級に在籍する小学1・2年生 ※小学校区による条件があります。
- ②単独で通学することが困難であること
- ③保護者等の就労、障害、病気等を理由に通学の付き添いが困難であること

【利用希望がある場合は】

- 1 申請: 保護者が → 障害福祉課に申し出てください。
 申請や相談を希望する方は、事前に障害福祉課地区担当までご連絡ください。
- 2 受給者証

移動支援(通学支援)の決定を受けた利用者(保護者)には、受給者証をお送り しますので、移動支援事業所に提示してください。

困りごと、わからないことは、障害福祉課へ! TEL 042-481-7094





ゆずのき学童クラブ開所 (旧仮称:富士見町学童クラブ)

医療的ケア児を含む重度の障害児が利用でき、通常の学童より知的・肢体不自由児の定員が多い市の学童、「ゆずのき学童クラブ」が令和2年4月、富士見町に誕生しました。育成室は1階が健常児と肢体不自由児、2階が知的障害児の想定で利用し、散歩やおやつなど、みんなで一緒にすごすこともあるそうです。知的障害児の定員は10名で、現在、特別支援学校、特別支援学級のお子さんが5名通っており、学校から学童、学童から自宅間で車送迎も行っています。医療的ケア児や肢体不自由児の定員の合計は5名で、利用児童はまだいませんが、看護師が常駐し、今後受け入れていく方向とのことです(障害児対応に慣れた支援員さんが複数勤務してくださっています)。

ゆずのき学童の開設にあたり、児童青少年課様は親の会に何度も意見聴取をしてくださり、委託先の事業団とも相談しながら作ってくださいました。楽しく充実した場になることを願っています。 ※学童クラブに関するお問い合わせは、

子ども生活部 児童青少年課 TEL: 042-481-7534

事務局より

理事会報告

第1回理事会

平成 31 年 4 月 21 日(日)

- ·平成 30 年度活動計算書等決算報告
- ・50 周年事業の報告
- ・法人役員(理事・監事)の選任
- ・事務局について

第2回理事会

令和元年9月1日(日)

- 森のこみち運営について
- ・親の会活動・ぴいす事業報告

第3回理事会

令和2年3月8日(日)

- ·令和元年度事業報告·収支報告
- ·令和2年度事業計画
- ・森のこみち事業終了について
- ・定款変更 ・監事の選任
- ·債権弁済第 10 回



賛助会員のご協力、深く感謝申し上げます

賛助会員6名の皆様

ご継続ありがとうございました。

ぴいす建設に係る債権弁済についてのご報告

令和元年度は、最後の1名の方に500,000円の弁済をさせていただきました。今回をもってすべての債権弁済は終了いたしました。長い期間、ご協力いただき、ありがとうございました。

会員・賛助会員のみなさまへ

親の会活動は、会員の皆様の会費によって運営されています。親の会活動がみなさまにとって、より有意義なものになるよう、役員一同、精一杯取り組んでいきます。

親の会 HP も日々更新中です!

親の会活動、学習会などの案内や、ぴいすの活動紹介、地域の福祉や学校についてのさまざまな情報をい ち早くお届けしています。

『調布親の会』で検索ください。